

第 10 回シンポジウムの開催報告(5 月 13 日開催)

研究普及委員会 委員長 宮川裕之

『医療と情報』をテーマに情報システム学会第 10 回シンポジウムが青山学院大学 青山キャンパスで開催されました。

特別講演として、ひたちなか総合病院で医療活動に従事されてきた永井庸次氏にご登壇いただきました。分断・サイロ化されていたり、データ構造が非構造であったりするため分析・活用が難しいと言われている多くの有用な医療データの活用、電子カルテなどの医療情報システムと外部モバイル医療情報等をビッグデータとして活用する上での情報セキュリティの課題克服など、医療を取り巻く現状についてご講演をいただきました。

あわせて、今回のシンポジウムでは、第 1 回浦昭二記念賞者 2 名による受賞講演を行いました。「患者志向情報システム開発・活用による地域医療への貢献」では患者志向情報システム構築経緯と今後に向けての取組について、「コンピュータ概論—情報システム入門（第 6 版）の出版と継続的な情報リテラシ教育の実践」では、コンピュータ中心の時代に“学ぶべきは情報システム”と考えられた筆者らの継続的な改版とサービス活動によって、ロングセラー教科書を生み出した志、着想と実践および今後の展望について報告されました。

シンポジウム終了後、場所を移しての情報交換会では、講演者と参加者との間で有意義な議論が展開され、盛会のうちに幕を閉じました。